

授業概要

この演習は、会計学の基礎を学習することを目的としている。具体的な学習内容は、複式簿記の基本原則や企業会計原則の考え方、国際会計基準への対応である。演習の進め方は、基本的には専門書の輪読する方法をとるが、新聞や雑誌などを通じて会計の基礎学力を強化も行う。秋期の演習は、専門演習に備え、レジュメの書き方や発表の仕方の取得も合わせて進める。

授業計画

第1回	会計学の対象と目的
第2回～第3回	会計の基礎的前提と財務諸表(B/S,P/L)の内容と形式
第4回～第7回	収益認識基準と資産負債の決定
第8回～第10回	資本調達の会計
第11回	キャッシュフロー計算書
第12回～第15回	貸借対照表と企業会計の見方
第16回	レポート報告会
第17回～第19回	会計数値の見方(財務諸表分析の基礎)
第20回～第24回	連結財務諸表
第25回～第31回	レジュメの書き方と発表
第32回	レポート報告会

到達目標

- ・簿記知識は日商簿記3級以上の水準に達すること。
- ・発表レジュメの作成及び発表能力の向上

履修上の注意及び予習・復習

- ・毎回必ず出席してほしい。
- ・演習は参加型授業なので、積極的に、発言、議論してほしい。

評価方法

出席の程度、レジュメ・発表のでき具合等を考慮して、総合的に評価する。

テキスト

- ・新田忠誓ほか 『会計学・簿記入門』白桃書房。
- ・必要に応じて、プリントなどを配布する。